

朝来市水道事業審議会 第3回 会議録

○ 開催日時 令和8年6月25日（木）14時00分から15時00分まで

○ 開催場所 朝来市役所山東庁舎 2階 第6研修室

○ 出席者の氏名

	出席者	欠席者
委 員	阿 野 真由美	衣 川 浩 二
	安 保 敏 之	
	奥 村 尚 志	
	木 村 昭 興	
	島 裕 幸	
	椿 野 純 夫	
	中 西 光 彦	
	西 垣 恵	
	松 原 朋 恵	
	宮 田 さと子	
事 務 局 (上下水道部上下水道課)	上下水道部長 野 中 昭 義	な し
	上下水道課長 松 尾 孝 一	
	上下水道課副課長 奥 聡	
	上下水道課主任 木 村 知 晶	

○ 傍聴者 あり

○ 審議内容

1. 開会

定刻になったため、第3回朝来市水道事業審議会を開催。

本審議会定数11名のうち、開会時出席委員10名と過半数を超えており、水道事業審議会条例第6条第2項の開催要件を満たすため、会議の成立を報告。

本日は水道事業ビジョンの策定業務を受託している株式会社相互設計事務所に

も出席いただいている旨を紹介。

また、前回同様、会議録作成の為、録音することを報告。

2. 挨拶（木村会長より）

みなさま、こんにちは。

本日は、朝来市水道事業ビジョンの更新のための、第3回目の審議会です。

今回は、「水道ビジョンの理想像と目標設定について」ということで、主に新ビジョンの取組みの核となる大きな目標について、率直なご意見やご質問をいただければと思っております。

今回審議いただいた内容をもって目標に対する施策方策や事業スケジュールについて次回以降審議していただくことになります。

限られた時間ではありますが、活発な意見交換を期待しています。委員の皆様には、大変お世話になりますが、本日もよろしくお願いします。

3. 新委員の紹介

事務局から新委員の紹介

兵庫県土木部上下水道課水道班長の奥村委員

連合区長会長の椿野委員

事務局から審議会副会長であった勝山前委員の後任である椿野委員の副会長就任を提案し、中西委員、他複数の委員から異議なしの声が上がったため、椿野委員が副会長に就任した。

事務局についても人事異動により変更があったため報告

上下水道部長 野中、上下水道課副課長 奥

4. 議事

(1) 旧ビジョンにおける理想像について

及び(2) 新ビジョンにおける取組について

事務局：資料により説明

奥村委員：新ビジョンの理想像について、従来の安全・強靱・持続を最終目標としているのか、この3つとA・S・A・G・Oの8項目を実現していくというものなのか、A・S・A・G・Oを実現することで安全・強靱・持続を

達成できるというものなのか、こういった骨組みなのかわかりづらい。

事務局：基本的には国が示している安全・強靱・持続は維持しつつ、新ビジョンでは新たに5つの形において、事業を推進していくことで、この安全・強靱・持続につながっていく目標を設定する考えである。

奥村委員：アセットマネジメントのところで、延命という言葉は水道の施設であまり使われないと思うが、どういうイメージで延命という言葉を使っているのか。

事務局：長寿命化という意味で延命という言葉を使っている。表現が正しいかどうか、また一般的に馴染みがあるかも含めて、他の水道ビジョンや事例を確認して修正が必要であれば修正していく。

安保委員：クリプトスポリジウムという言葉が出てくるが、ネットで調べてみたら動物に寄生する原虫のことであり、これは非常に塩素消毒に強いという説明があるが、これは、実際に朝来市で事例があったのか。

事務局：朝来市においてはクリプトスポリジウムが検出されたという事例はないが、今後、そういった可能性も含めて対策を進めていく必要がある。具体的な対策としては塩素滅菌では対応できないため、紫外線装置や膜ろ過等色々な対策方法があるが、その方法も含めて検討していくため記載している。

安保委員：まだ具体的には、いつからなのか、というのは。

事務局：具体的な対策の中にどういった盛り込むかを検討中で、次回の審議会でお示ししたい。

(3) 新ビジョンの構成について

事務局：資料により説明

奥村委員：このビジョンの構成は、平成25年の国の新水道ビジョンをベースにしているのか。国のものと見比べて、例えば、第3章の将来の事業環境において、国の手引きでは、職員数の減少や水源の汚染も入れたほうが良いという記載もあるが、そのあたりも検討しているのか

事務局：次回の審議会に向けて、事務局と相互設計と打合せを行っていく中で、そういったことについても、検証させていただきたい。

中西委員：国が設定している環境変化の視点について、どのようなものがあるか、

ご教示願いたい。

奥村委員：水源の汚染といったところで、汚染リスクを想定した将来の対応。

中西委員：第3章の環境変化を踏まえて、第4章のあるべき姿を議論するという流れになると思うが、第3章で需要予測、設備の老朽化、それからお金の問題、これにいわゆる品質管理としたら、それはどのような品質管理となるのか。

奥村委員：私のイメージは、アクアのところでいわゆる水安全計画の考え方を取り入れることで、実施されると認識している。

事務局：国の新水道ビジョンの手引きを再度確認して、こういった形で盛り込むが検討する。

中西委員：品質アップはあるのか。

事務局：品質を上げるというよりは保つ、維持していく。

島委員：朝来のローマ字を取って理想像を作っているが、A・S・A・G・Oの中がバラバラになっているのではないか。安全・強靱・持続の3つのポイントがあるのであれば、Aであれば、この3つのうちのどれに当たるのか、Sであればどれに当たるのか、リンク付けをしたほうが市民に分かりやすく伝わると思う。

事務局：新しいビジョンの見せ方、表現の仕方のところになってくると思う。単純にAがどれ、Sがどれといった紐づけはできないが、例えば、Sの中でも、この目標については持続である、強靱であるといった紐づけであれば可能かと思う。こういった見せ方ができるかは検討させていただく。

宮田委員：このビジョンは市民のところに行きわたるのか。

事務局：全戸配布といったことはしない。

宮田委員：市民にポイント的に出るのであれば、言葉が固すぎるので、もう少し分かりやすい言葉で表現したほうが市民はとっつきやすいのではないか。

事務局：どうしても水道事業独特の言葉を使っているところが多くなっている。他の市町のビジョン等を参考に、分かりやすい表現、言い回しがないか確認する。

中西委員：2016年ビジョンの1から10までの目標が環境変化でどう変わったのかを次のビジョンでも繋がったほうがわかりやすいと思う。

木村会長：見せ方で済むのか見当が必要。A・S・A・G・Oという言葉を使うこと

に違和感はないという認識でよいか。それを踏まえて組み替えるのか繋がりを示すのか

中西委員：安心安全のところで環境変化、社会情勢の変化により、例えば PFAS という新しい概念が出てきて、それに対する新しい安心安全のアクアにつながるという流れになれば、誰が見ても分かりやすい。一貫性が必要。

島 委 員：重なる部分はあると思う。例えば8ページの図を上手いこと重なるように丸を加えたりすれば、伝わりやすい、見やすくなると思う。

木村会長：できるだけわかりやすい表現がよいと思う。どこまで実現可能か分からないが、次回で最後まで、ロードマップまでお示しいただけると思うので、今回は大きな方向性ということで、今回を踏まえて次回以降進めていくということによろしいか。その他ありますか。表紙についても質問があれば。

事 務 局：水道ビジョンなので水に関する写真を使いたいと考えている。

宮田委員：竹田城跡が水攻めにあっているということで竹田城跡の写真も良いかと思うが、水攻めを知っている人は限られるので兼ね合いが難しいと思う。

木村会長：最後に全体を通して何か質問はありますか。よろしいでしょうか。

議事がすべて終了しましたので、進行を事務局に返します。

(5) その他について

次回の日程を連絡。

- ・第4回朝来市水道事業審議会 令和8年10月開催予定
- ・日程調整は、9月頃に案内予定

4. 閉会（椿野副会長）

お忙しいところ、このようにお集まりいただきありがとうございます。本日、審議いただきました内容をもとに、よりよい水道ビジョンの策定に活かしていただければと思っております。今後におきましても、みなさんのお力添えをいただきますようお願い申し上げまして、今回はこれをもって、散会としたいと思います。本日はありがとうございました。

以上